

2019/2 Vol. 14

水戸赤十字病院広報誌

〒310-0011 茨城県水戸市三の丸3-12-48
TEL.029-221-5177(代表) <http://www.mito.jrc.or.jp>

ご自由にお持ちください **Take Free!**

虹
にじ

虹の由来／架け橋となるような広報誌を目指します。

新年の御挨拶

緩和ケア病棟で季節の行事を開催しました。



水戸赤十字病院外観

人間を救うのは、人間だ。
Our world. Your move.



日本赤十字社 水戸赤十字病院
Japanese Red Cross Society

診療科紹介Vol.14

リハビリテーション科

寄り道コラム ~file 6~

うつらない、うつさない、ひろげない!!

地域医療連携課

「日赤でお産」という選択肢

新年の御挨拶



院長 満川 元一

新年あけましておめでとうございます。

今年も新年早々から熊本地方で地震に見舞われました。自然災害の発生を防ぐことは困難で如何に予知の精度を高め被害を最小限にするかを考えなければならないようです。

当院産婦人科は派遣大学より本年3月をもって水戸赤十字病院から撤退するとの勧告を受けておりましたが、県、市とともに粘り強く交渉した結果、今後も派遣継続が決まりました。しかしこの交渉に1年近くかかりましたので、世間では産婦人科診療中止のうわさが根強く残っているようで3月からの分娩予約が極端に減少し、撤退に関する問い合わせも多くなっております。分娩や手術の減少は病院の経営上も問題ですが、また撤退問題が再燃する火種にもなりかねません。そこで当院のホームページや茨城放送、県の広報誌などで産婦人科の

診療継続の案内を行っておりますが皆さまにおかれましても水戸赤十字病院産婦人科が継続することを関係する方々に広くお知らせいただきたくお願い申し上げます。

当院はロボット手術に力を入れており、泌尿器科で前立腺がん、腎臓がん、外科では胃がんに対して実績がありますが、婦人科においても子宮の良性、悪性腫瘍に対してロボット手術を開始いたしました。適応にもよりますが、希望される患者さまがおりましたら、ご紹介いただくと幸いです。

当院は現在、入院患者さまの減少による経営の悪化に悩んでおります。どうか多くの患者さまのご紹介をお願い申し上げます。私は本年3月末をもって院長を退任いたしますが、嘱託として少しでも地域医療のお役に立ちたいと考えておりますので今後ともよろしくお願い申し上げます。

緩和ケア病棟で 季節の行事を開催しました。

緩和ケア病棟では、入院患者さまとご家族を対象に12月25日にクリスマスコンサート、1月30日に節分会を開催しました。コンサートでは、茨城県日立市出身のシンガーソングライターKATSUMIさんによる歌とギター演奏(「きよしこの夜」「糸」「ブルークリスマス」「願い」「笑顔がいいね」「YES, 抱きしめて」)が行われました。参加された方々は、手拍子をしたり一緒に歌を口ずさんだりとコンサートは大盛況でした。



節分会では、鬼に扮した看護師が登場し、入院患者さまは「鬼は外、福は内」と声を出しながら豆まきを行いました。

両日ともイベント終了後には当院ボランティアの宮本直子さんによる「ゆるcafe」がオープンし、ケーキやオムレット、飲み物が提供されました。



リハビリテーション科 Department of Rehabilitation



リハビリテーション科部長
宇川 康二

リハビリテーション科に受診する最も多い傷病は脳梗塞です。年間約18万人発症されるとされています。

脳梗塞とは、脳動脈の血行不良により脳神経細胞が壊死することで症状をきたす疾患です。脳梗塞の分類は、ラクナ梗塞（細い血管が詰まる）、アテローム血栓性脳梗塞（比較的太い血管が動脈硬化によって詰まる）、心原性脳塞栓症（不整脈により左心房内血栓が脳血管を詰まらせる）です。症状は、突然起こる半身麻痺（顔面含む）、起立歩行困難、呂律が回らない、食事摂取中むせる等です。病院では、頭部CT検査・MRI検査などが実施されます。治療方針は、ラクナ梗塞、アテローム血栓性脳梗塞に対しては抗血小板療法が選択されます。心原性脳塞栓症に対しては抗凝固療法が選択されます。早期リハビリ（理学療法・作業療法・言語聴覚療法）を実施して早期離床等を進めます。

次に多い症例は大腿骨頸部骨折（広義）です。骨粗鬆症の進

行によって骨がもろくなった状態で転倒等の外傷をきっかけに発生します。年間約10万人以上とされています。

大腿骨頸部は股関節を形成しており、関節包内側で骨折した場合：大腿骨頸部骨折（狭義）と呼び、関節包外側で骨折した場合：大腿骨転子部骨折と呼びます。症状は、非常に強い股関節痛から大腿部痛、歩行困難・不能となります。診断はレントゲン検査、CT検査などが実施されます。治療方針は、基本は根治手術です。大腿骨頸部骨折（狭義）は、人工骨頭置換術又は骨接合術（ハンソンピン挿入）、大腿骨転子部骨折は、骨接合術（髓内釘）が選択されます。術前・術後リハビリ（理学療法・作業療法）を実施して早期歩行回復、在宅復帰を目指します。

file.6

寄り道コラム

当院では、主に外来患者の皆さまに向けた疾病予防・健康増進の情報提供の場として、「寄り道講座」を月2回程度実施しています。当コラムではその内容についてご紹介します。

うつらない、うつさない、ひろげない!!

感染管理認定看護師 高橋 洋子

インフルエンザの流行指数がどんどん上昇し、茨城県全域にインフルエンザ警報が発令されました。初期症状として急な寒気や関節痛、高熱（38.0℃以上）が出るのが、インフルエンザの特徴です。インフルエンザの予防接種をしている場合は、「高熱じゃなかったけど、罹っていた」というケースや、鼻水がいつもより多く出て「花粉症かな?」と思って受診したら「インフルエンザでした」というケースもあるようです。例年は、3月中旬まで注意が必要ですが、今一度、予防策の確認をして、今シーズンを乗り切りましょう。

■ 正しいマスクの着用



■ 咳エチケット



地域医療連携課

水戸日赤で出産できますよ！「日赤でお産」という選択肢

妊娠なら紹介状なくても
受診できるの？

紹介状がなくても選定療養費5,400円(税込)はかかりません。なお「里帰り分娩」や「他院からの転院」の方は紹介状があると助かります！

豊富な助産師＝豊富なケア

県内で一つの病院にこれだけの助産師がいる病院はわずかです。資格を取得したアドバンス助産師が沢山在籍しています！患者さま一人一人に時間をかけたケアが可能です。

産まれる前に準備しよう。
赤ちゃんのエコードック

当院では胎児精密超音波検査を施行しています。産まれる前に形態的な異常の有無を確認できます。もちろんその後のケアも医師が相談に応じますので安心です。

新しい妊娠中の管理始めました。
医師と助産師の連携外来

当院では妊婦さんへのケアを大事にするため助産師外来に力を入れています。助産師外来では医師外来よりも時間をかけて妊婦さんを診ることができます。お産に関することなら何でも相談してください。医師と助産師が親身になってお答えします！

当院では平成31年4月以降も
今まで通り産婦人科の診療体制を
継続して参ります。



紹介状持参のお願い



次の場合は、「**紹介状**」が必要となります。

- ・当院を初めて受診される場合
- ・当院での治療が終了し、再び来院され受診される場合
- ・患者さまが任意に診療を中止し、改めて受診される場合

お持ちでない方は

選定療養費5,400円(税込)
が必要となります。

皆さまの、ご理解とご協力をお願いいたします。

紹介状(診療情報提供書)
検診結果表 をお持ちの方は



3番 紹介窓口
にご提出ください。

ご予約の方も、紹介状、
検診結果表をお持ちの方は、
「3番 紹介窓口」にご提出ください。